

令和元年 第4回（定例）高鍋町議会会議録（第3日）

令和元年12月10日（火曜日）

議事日程（第3号）

令和元年12月10日 午前10時00分開議

日程第1 一般質問

（一般質問通告一覧表）

順位	質問者	質問事項 質問の要旨	質問の 相手	備考
4	8番 黒木 正建	1. 高鍋駅舎の建て替えについて ①駅舎の全体的デザインの構想について伺う。 ②高鍋の玄関口である駅を中心とした周辺との一体化についての構想を伺う。	町長	
		2. 塩田川の浸水対策について ①堤防の嵩上げをする為の測量・設計・施工の計画と進捗状況を伺う。	町長	
		3. 安全な通行を確保するための対策について ①下屋敷の中川池（2線）の道路の舗装等の完成時期について伺う。 ②海岸線道路舗装の完成時期について伺う。 ③萩原～宮越地区（県道19号線）の街灯設置について伺う。	町長	
5	2番 永友 良和	1. 台風被害減少対策について ①町道の本数は。 ②町道沿いに樹木が生えている道路は。 ③町道沿いの樹木の伐採について。	町長	
		2. 高鍋町地域農業リーダー経営安定支援事業補助金について ①補助金の年間予算額及び上限額は。 ②現在の利用者数は。 ③今後の継続及び予算拡大は。	町長	

		<p>3. 通学路の安全対策について</p> <p>①通学路の安全点検の実施は。</p> <p>②東西小中学校区内での危険箇所は。</p> <p>③危険箇所への対応は。</p> <p>④学校と児童・生徒、保護者との危険箇所の確認及び連携は。</p> <p>⑤学校と見守り隊（民生委員・児童委員）の方々との連携は。</p> <p>⑥竹鳩橋の看板について。</p>	町長 教育長	
		<p>4. 地域IoTプラットフォームについて</p> <p>①現在、実証されている実験は。</p> <p>②GPSを利用した災害弱者への取り組みは。</p> <p>③今後のエイムネクスト㈱との連携は。</p>	町長 教育長	
6	12番 春成 勇	<p>1. 自然災害について</p> <p>①全国各地で温暖化による台風災害やゲリラ豪雨の災害が起きているが、町の対応について伺う。</p> <p>②町内にある、ため池の現状について伺う。</p>	町長	
		<p>2. 道路の現状について</p> <p>①道路の幅員が4メートル未満の道路について伺う。</p> <p>②里道の現状について伺う。</p>	町長	
7	6番 後藤 正弘	<p>1. ヤンバルトサカヤスデ対策について</p> <p>①現在の発生状況及び対応について伺う。</p> <p>②児湯郡（市）町村議会議長会で、知事にヤンバルトサカヤスデ対策を陳情されたが、その後、県からの対応を伺う。</p> <p>③今後のヤンバルトサカヤスデ蔓延防止対策について伺う。</p>	町長	
		<p>2. 人口減少問題について</p> <p>①人口減少が加速していると思うが、町としてどのような人口減少対策に取り組むのか、お考えを伺う。</p> <p>②人口減少対策として、農業で人を呼び込むような対策が必要と考えるが、町の取り組みについて伺う。</p> <p>③人口減少対策として、子どもを産み育てやすい環境づくりが重要であると考えているが、町の取り組みについて伺う。</p>	町長	

出席議員（14名）

1番	田中	義基君	2番	永友	良和君
3番	八代	輝幸君	5番	松岡	信博君
6番	後藤	正弘君	7番	黒木	博行君
8番	黒木	正建君	10番	古川	誠君
11番	中村	末子君	12番	春成	勇君
13番	日高	正則君	14番	杉尾	浩一君
15番	緒方	直樹君	16番	青木	善明君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 川野 和成君 事務局長補佐 岩佐 康司君
議事調査係長 橋本 由香君

説明のため出席した者の職氏名

町長	黒木 敏之君	副町長	児玉 洋一君
教育長	川上 浩君	代表監査委員	黒木 輝幸君
総務課長兼選挙管理委員会事務局長			河野 辰己君
財政経営課長	徳永 恵子君	建設管理課長	恵利 弘一君
農業政策課長	横山 英二君	農業委員会事務局長	飯干 雄司君
地域政策課長	渡部 忠士君		
会計管理者兼会計課長			鳥井 和昭君
町民生活課長	山下 美穂君	健康保険課長	宮越 信義君
福祉課長	中里 祐二君	税務課長	杉 英樹君
上下水道課長	吉田 聖彦君	教育総務課長	野中 康弘君
社会教育課長	稲井 義人君		

午前10時00分開議

○議長（青木 善明） おはようございます。只今から本日の会議を開きます。

日程第1. 一般質問

○議長（青木 善明） 日程第1、一般質問を行います。

昨日に引き続き、順番に発言を許します。

まず、8番、黒木正建君議員の質問を許します。

○8番（黒木 正建君） おはようございます。傍聴席の皆さん、御苦勞さまでございます。それでは、通告に従いまして3件の項目について一般質問を行います。

初めに、高鍋駅舎の建て替えについてでございますが、これまでの経緯について少し触れてみますと、駅舎は大正9年、1947年、に建設され、来年で100年を迎えます。イベント等も行われるんじゃないかと思っております。

平成6年から7年にかけて、駅舎の建て替え、駅前の整備等一般質問に出されるようになりました。前町長が3期目の出馬において、駅舎の建て替えを公約に上げられ、当選後、高鍋駅舎基本計画策定懇話会が発足し、平成26年11月と27年2月と3月の計3回の協議の結果を町に提言、判断を委ねた経緯があります。

現町長が、平成29年3月議会において、「新しい駅舎を建てる必要があると考えている」と答弁がありました。また、ことしの9月議会において、駅舎購入997万6,000円、耐震診断330万円が採決可決され、今後の前進を期待する町民の声が聞かれております。

以上、登壇しての質問とし、(2)の高鍋の玄関口である駅を中心とした周辺との一体化についての構想に関してと、2項目めの塩田川の浸水対策について及び3項目めの安全な通行を確保するための対策については、発言者席からそれぞれ質問いたします。

大変失礼しました。駅舎の建て替えについてでございますが、町長の考える駅舎の全体的デザインの構想について伺います。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 町長。おはようございます。お答えいたします。

駅舎のデザイン構想についてでございますが、高鍋駅は交通の拠点であると同時に、本町にとっての魅力ある玄関口でもあるべきという基本的な考え方のもと、これまでの検討内容やさまざまな御意見などを参考にしながら、具体的なデザイン構想にしなければならないと考えているところでございます。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 只今町長のほうから構想については、もう少し具体的に構想についてお伺いしたいと思います。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 今具体的なということでございますが、やはり具体的なデザインというのが、どういう方向かということもあると思うんですね。基本的にはデザインもいろいろありますけども、アーバンデザイン、いわゆる都市計画に似たような地域全体で見るデザインと、それから、駅舎の色、形というようなデザインと、そのグラフィックデザインという形に幾つか分かれていくので、その辺を統合的に考えながらデザインされるべきものであって、今後の取り組む上での課題になってくるということであると考えております。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 町長の考えもいろいろあると思うんですけど、町民の方たちもそういう高鍋駅像といいますか、そういうのがなかなか描かれないうと。本年度中に構想をとということになっているようんですけど、今までに町長のほうから古民家風のとか、いろいろ話は断片的には入ってきたんですけど、そこ辺もう少し具体的にその構想を入り込んでいくというわけにはいかないですか。

まだまだその4月まで日にはあるんですけど、そこ辺を町民の方たちも早く聞きたいなという、そういう期待を寄せての今回の駅舎購入というか、耐震診断の金額とか、そういうのも上がっていますし、それ以上具体的なあれは、答弁できないでしょうか。そこ辺ははっきりしていただきたいと思います。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） やはり高鍋駅は、町民全員がどういう駅になるかというのは非常に重要であり、興味を持たれる場所であると。ある意味では、一番高鍋町民が注目する場所になるというふうに考えます。

その機能性、あるいはその地域に及ぼす影響、その辺を考慮した構想にならざるを得ないと思いますので、まだ断片的なことはあったとしても、きちんとした形でまだ言うべき段階にはまだ来ていないところもありますので、その辺のところはまた今後少し考慮しながら、案を出させていただければというふうに考えているところでございます。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） じっくり考えてやられるというのは、非常にいいことだと思うんですけど、大体いつごろまでにそういう具体的な案というのは、町長のほうで考えておられますか。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 町長。じっくり考えるとございまして、もう既に駅を購入するという、そういう案が通っておりますので、駅を高鍋町が所有したときから、例えば地震があったり、台風で災害があると非常に高鍋町の責任に、JRではなくて高鍋町の責任になるわけでございますので、これは早急に取り組まなければいけない事項になってくるというふうに思いますが、いつまでにとすることは、まだ明確にはお伝えできないというふうに思います。速やかに、早急にやらなければいけない状況になっているというふうに考えます。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 高鍋駅を建て替えるのか、それともリニューアルするのか、そこ辺の考えというのをお聞かせ願いたいと思います。そこ辺までまだ自分の考えがいつまでか。

それと、前回のときはいろいろ地域の代表者とか、いろんな関係者集まっていたいて、先ほど言いましたように3回ほどの策定懇話会とか、そういうのでいろいろ専門家を交え

て検討されて、一応その方向性というか、そういうのができたんですけど、今回の場合はそういった基本計画の策定懇話会とか、そういうのを実施されるとか、そういう考えはどうですか。ありますか。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 今の御意見で認識すべきは、専門家の方を取り入れての意見を聞いていくというのは、非常に重要だというふうに思っているところでございます。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 今から検討されるということなんですけど、新しいのを足すのか、またやり替えられるのか、今回は一応構想ということでお聞きして、それからまた話進めていきたいという考えでおったんですけど、高鍋駅の場合100年もたって、建築基準法においても既存不適格建築物というようなことで、いつ崩壊するかわからないというような、そういう判断も出ている中において、どういうふうなそういう駅舎構想を持っておられるのかというのを聞いたかったんですけど、なるだけ早い時期にそういった具体的な構想というのを発表していただきたいと思います。

そういういつごろまでにといいれば、別にないわけですね。まだ今からいろいろ検討されるということで、そういうふうな解釈してもよろしいんですか。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 早急にいろいろ検討していかないといけないというふうに考えているところでございます。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 周辺との一体化について、これもいろんな駅前整備とか蚊口浜ですね、海浜公園あたりとかいろんなそれが、前からいろんなところで出ているんですけど、その一体化というのをそこ辺ちょっと具体的にお聞きしたいなと思うんですけど。

○議長（青木 善明） 地域政策課長。

○地域政策課長（渡部 忠士君） 地域政策課長。お答えをいたします。

駅舎を中心といたしました周辺との一体的な構想についてということでございますけれども、将来的には駅舎の改修と、観光資源としての蚊口浜及びその海浜公園等を含めました一体的な整備の構想を描いているところでございます。そのような中で現在行っている高鍋駅舎の耐震診断の結果を踏まえまして、まずはその高鍋駅舎の改修から取り組んでいきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 蚊口浜の件とか出ましたけど、ある程度というか、大まかなことが多くてももう少し具体的なそういった蚊口浜をどういうふうにするんだとか、駅前はどういうふうにするんだとか、そういう具体的な構想は全然ないんですか。あったら現時点で考えられているその構想をお聞きしたいと思うんですけど。

○議長（青木 善明） 地域政策課長。

○地域政策課長（渡部 忠士君） 地域政策課長。現時点におきまして、具体的な構想には至っておりません。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） この駅舎構想は、もう今年度ということですので、そこ辺をもう少し突っ込んでやっていただきたいと思います。何かずるずる今まできているというような状況で、どういうふうにするのかというのを、もう少しはっきり具体化して発表していただきたいと思います。そこ辺はどうですか。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） ずるずるなっているということですが、やはり駅は先ほども述べましたけれども、高鍋町民の高鍋町の象徴になるわけですから、慎重に、またいろんな機能性、あるいは地域等の連携の仕方とか、その辺も考慮した上での構想になってくるというふうに思います。

今までのさまざまな出ている御意見等を参考にしながら、早急に構想をつくっていかねばならないと考えております。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） ひとつ町民も非常に進捗状況というのを期待していると思いますので、そこ辺も考えていただいて、今後検討していただきたいと思います。

次に移ります。塩田川の堤防のかさ上げ等の測量・設計・施工の計画と進捗状況について伺います。

これは、前回の台風のと きなんかも、県のほうから応急処置としてコンクリート等の処置がなされたんですけど、これでは地域住民の方たちの災害のときに対する水害、床上浸水とか床下浸水とか、いろいろ災害が多くて非常に不安を持っておられるんですけど、今後のそういった計画について伺います。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。塩田川の浸水対策につきましては、県に確認しましたところ、昨年度から今年度の10月までに浸水痕跡調査、現地測量、対策工事の設計を行い、今年度から来年度にかけての2カ年で塩田橋から塩田2号橋の間の約140メートルの両岸の堤防のかさ上げ工事を実施予定というふうに聞いております。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 今課長のほうから答弁があったんですけど、これは塩田川橋から塩田2号橋の間のことですね。それ確認いたします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。県道から塩田2号橋までの間ということです。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 確かに現場を見ていますと、約60センチぐらいのブルーシート

がかぶせてあるんですけど、応急処置されたところ。両岸、東側のほうは約60メートルぐらいコンクリートブロックがしめてないんですけど、西側のほうが20メートルぐらいということで、非常に傾斜なんかあるんですけど、現状のままでは大水が出たら、またあおい会館あたりのほうからずっと水があふれてくるんじゃないかと思います。

今回の県外等での災害ですね、これを見てもみますと、ほとんど堤防が決壊して、それによる非常に個人的な自分の家をいくら管理しておっても、その堤防決壊による水害による被害というのが物すごい多かったんですけど、高鍋の場合も再三議員のほうからも出ていますけど、そういった堤防決壊とか、堤防をオーバーしてから水が浸水したとか、そういうのが物すごい大きなウエイトを占めておりますので、結局住んでいる住民は正直言って何も罪はないと思うんですね。堤防さえびしゃっとしておけば、そういう決壊を防いでいただければ、そういう被害も出ていないと。

そこ辺をちょっと県、国なりに積極的に働きかけてやっていただきたいと思うんですけど、その今回質問に出しているその塩田川ですけど、これ町としては何年ぐらいまでもう予定しているその高さですね、堤防の高さまでもっていかれる予定なのか、お伺いします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） この件につきましては、以前から浸水があるということで、特に昨年の台風でまた浸水したということで、県のほうにお願いしまして、町としましては早急に県のほうは取り組んでいただいたというふうに考えております。

いつまでにとというのは、河川管理者である宮崎県が、今度の約80センチぐらい堤防をかさ上げるんですけど、それで大丈夫という計算で施工されているものと思っております。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 確かに現場を見てみますと、堤防も確かにかさ上げ、今回応急処置していただいたんですけど非常に低いし、町のほうからも県等にどんどん働きかけていただいて、まずそこを完備することが、そういった水害を防ぐ第一条件だと思いますので、いろいろ条件等々あると思いますけど、そこ辺を早急に検討し、また実施していただいて、地域の住民が安心して暮らせるような、そういう環境づくりしていただきたいと思います。

次に、下屋敷中川（2線）の道路の舗装、それから海岸線の道路の舗装ですね、こういうこれもたびたび前から出しているところなんですけど、中川（2線）については、もう非常に29年に道路改良して610万円予算は組んであるんですけど、一応杭打ちはあっているんですけど、非常に現状を見ると危険で、車も5キロか10キロ以内でないと走れないような状況ですね、もう御存じだと思うんですけど、傾いて。通ってみたら、体重を反対側に移さんといけないような、飛ばしたら必ず田んぼの中にひっくり返るというような状況であります。

これも相当前から出ているんですけど、それと海外線の道路ですけど、これは何回か砂

利を入れていただいたんですけど、雨が二、三回降るともうもたなくなってしまって、非常にでこぼこ道で、でこぼこ道で済めばいいけど、そこを知らない人が通ったら、水たまりやらあるときなんかはタイヤが落ち込んで、もう飛ばしたら必ず事故が起きるだろうというようなところであります。

先ほどからいろいろ周辺の一体化とか、そういうのも出てくるんですけど、まずそこ辺、前の町長も言いましたけども、無法地帯ですね、浜辺は道路なんかにしても。だから、そこ辺をまず早急に改善していただきたいと思うんですけど、その2点についてお伺いしたいと思います。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。中川（2線）につきましては、測量設計が完了し、本年度道路が広がる部分の用地買収を行っているところであります。道路整備の工事に関しましては、ことし用地買収を行っているところでありますので、早期完成に努めたいと考えております。

また、蚊口浜の海岸線につきましては、舗装の必要性は十分認識しておりますので、財政上の都合もありますので、予算措置ができ次第工事に入りたいと考えております。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） この中川池（2線）ですけど、これももう本当先ほど申しました、昔からなかなか進んでいない状況です。これまで地区の公民館長さんやら、自分が公民館長をしているときに、何とかしたいというようなことで頑張っておられた方もいるんですけど、もうそういう方も亡くなってしまったとか、それだけ期間もたっております。

あとは、その海岸線の道路ですけど、これも非常にサーフィンやられる方とか非常に多くて、別の道もあるんですけど、非常に混雑するというか、サーフィンする人たちが非常に多くて、一般の人たちも非常に離合するときなんか困っているというようなことで、先月ですか、26日にちょっと刈ってもらったんですけど、個人的に名前を出すとあれですけど、秋山商店の前辺なんかもうでこぼこもいいところですよ。子どもなんか自転車で行ったら必ず転倒します。もうぼこぼこです。

やっぱりよそからのそういうカキを食べに来られる方とか、そういう人たちの観光客のことを考えたら、とてもじゃないと思うんですね。そこ辺をちょっと行き届くそういう対応といいますか、そういうのをしなければいけないんじゃないかというふうに思っているところです。

できたら役場の職員なんかを、そういう現場確認とかそういうのをもうちょっとしてもらいたいと思います。本当無法地帯です。これでいいのだろうかと思うくらいです。

それと、萩原、宮越地区の県道、町道も入りますけど、街灯についてでございますけど、これ担当課にも話したんですけど、朝とか夕方ちょっと見てくれというようなことを話したんですけど、ここ辺学生なんか非常に利用されるとか通行する道路でもありますし、ここを見て担当はどういうふうに思われたか、お聞きしたいと思います。

○議長（青木 善明） 総務課長。

○総務課長（河野 辰己君） 総務課長。街灯の設置につきましては、地区からの要望に基づいて設置をしております。議員が御指摘の場所につきましては、確かに暗いというのは認識はしておりますが、地区からの要望がございませんので、地区のほうから電気料を払っていただくということもありまして、地区のほうからの要望で対処しておりますので、要望がありましたら適切な対応をしていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 地区からの要望ということなんですけど、今回の場合もちょうど道路沿いですので、地区が3つぐらい関係してくるわけですね。私も公民館長に黙って一般質問に出すともあれやから、そういうところは聞くなりしてこうしているんですけど、ただ3つって、それ誰が公民館長やと、そこら辺も一応役場担当と話したりして、一応3つの公民館長に一応こういうことで出しますよということは言っとってくれということで連絡しているんですけど、確かに暗いんです。

ただ、暗いで一言で片づけられるような状況じゃないですよ。私も何回か行っています。朝早く行ったり、夜行ったりとか、高校生やらが通ったりとか。

地区の要望がないということでよくあるんですけど、「だからそこまで公民館長がせんといかんか」とか、公民館長さんもその器具は行政のほうでつけてくれる。だけど、後管理はその地区のほうで出さんといけないようになっていきますよね。

これは前からいろんな議員からも一般質問は出たときあるんですけど、住宅地がずっとあるところの街灯だったら金を集められるけど、今回の場合なんか高鍋石油萩原がありますよね。御存じですかね、増田工務店さん、あそこ多田さんって保険屋さんがあるんです。そこに街灯が1つあって、それからアタックス、あそこまで全然ないんですよ、街灯は。

高鍋高校の高いあれが2つあって、高校生なんか非常に多くて、今回一般質問に出したというのは、高校生のほうからそういう顔なじみになっているガソリンスタンドなんかあるんで、そこ辺で暗くて恐いと、女の子たちやらも。

そういう話が上がってきて、どうなっているんだというようなことがあって、私も駅の駐輪場がありますよね。駐輪場に朝早く行ったり夜暗いときに行ったりして、いろいろ高校生に聞いたりするんですけど、非常に何とかしてもらえんのだろうか、そういう意見がどんどん出ているんですけど、そういうところで暗いときに通ってみたりしたんですよライト切らして、真っ暗ですよ。

よう犯罪も何も起こらんでよかったなというような感じで、中には自転車なんかライトをつけていない学生もおるし、切れているのか知らんけど、そういうのたまにあります。そういうときに事故やらなければいいがなと思っているんですけど、今その自転車駐輪場ですね、あそこを利用されている高校生の方は、もう把握しておられると思うんですけど、どのくらいいますかね。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 駐輪場やらもうしょっちゅう行っているんですね。駐輪場の2人管理人の人がいるんですけど、いろいろ話を聞いたりはしているんですけど、今の349名があそこ駐輪場を利用しているんですよ。高鍋高校生が146名、農高生が23名、その他、これは西都商業とか宮崎方面に行っている生徒さんたちです。

駐輪場のそのあり方とか、そんなのいろいろあるんですけど、そういうのも今回抜きにして、349名の方がいるんですよ。今、日が暮れるのも早いし、それで非常に混雑しています、道路事情ですね。そこ辺をもう少し学生通りをもうちょっと明るくせんといかないじゃないかと思うんですよ。

事故が起きていないからいいようなものの、危険な面というのは目の前でよく見るんですけど、たまたまそれが大きな事故につながっていないというような状況で、それはそこ辺をもう一度現場を確認して、やっていただきたいなと思います。そこ辺見ていただければですよ、このままの状況じゃ絶対いかなのじゃないかなと思うと思います。思わぬ人がおかしいくらいだと思うんですよ。

それと、街灯のこの公民館長さんから要請があると、ここ辺もちょっと改めんといけないと思うんですよ。

公民館長さんも、そこ辺の金が絡んでくるから、地区から金を出さんといけないというふうになると、二の足を踏む場合もあるし、これ街路の電気料金ちょっと調べているので、LEDですね、これが100ワット月ですよ、約82円、蛍光灯が123円、基本料金が46円となっているんですけど、そういう状況によって、そういう街灯料というのもやっぱり行政のほうで負担をしてやらなければいけないんじゃないかと思うんですよ。

これは1つの例ですけど、蚊口の浜があるんですけど、あそこの松林がずっとあるんです。あそこLED7基今ついているんですけど、商売やらやっているところがあって、もう景気がいいときは「うちから出すから、何とかそこ辺やってくれ」というようなことで、あと倒産して、誰が納めるとかなって、結局は地区というか、それ負担しているような状況です。

誰もその恩恵は被ってないですよ、普通の人。夜で松林だから、あそこ。普通の人を通るあれは一つもないし、そういうところが町内にもやっぱり何か所かあるんじゃないかと思うんですよ。

前のわかば保育園のとも、そういうある議員から話がそういうふうに出たことがあるんですよ。あそこら辺住宅がないです、ずっと。わかば保育園の子どもさんやら迎える、来られる父兄の方で、暗いところを走っていく。結局はその器具はつけるけど、後の電気料金はそれ地区で払えと言ったって、そこ辺直接通る人もいないし、離れるところで、結局そのままの状況です。

見に行ってみると、ちょっと離れたところにLEDが1個ついている、真っ暗です、もう。だから、担当課のほうでも町長さんですけど、やっぱりそういうところも現地を見る

なり、やっぱりそういう住民の目線に立ってやっていただきたいと思うんですよ。

極端に言えば、役場職員も朝出るときと帰るときは別の道を通って帰るとかですよ、道路を見て帰るとか、そういうとこ辺もあってもいいんじゃないかと思うんですよ。どんなですか、その件につきましては。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 黒木議員のおっしゃるとおり、高鍋町内私も結構最近夜歩くもんですので、本当に暗いところが多かったり、怖いところがたくさんあると思います。

この問題、設備は役場でつけますが、地区からの要望がないと電気代は地区に見てもらうので、こちらから積極的につけると電気代がかかるということで、地区からまた苦情が来るといけないという、お互いの相互のやりとりがそこでうまくコミュニケーションとれていないところがあると思うんですね。

議員のおっしゃったとおり、もう一度地区の皆様方の公民館長等と話して設置すると、お聞きしたとおり電気代それほどかからないんだということもお話ししながら、設置するという方向で幾つかこちらから提案、この場所どうだろうかというのは、積極的な提案をしていくということも必要ではないかというふうに思いますので、その辺は対処したいと思います。

それから、公園ですとか、その海ですとか、少し地区とわかりにくい場所については、こちらのほうでいろいろ検討して、また地域の皆さんと話し合っていく必要があると思います。

行政としての設置と地区の皆様方の電気代を払うというところを、もう一度確認しながら、夜が明るい安全な町になるような取り組みをしていきたいと思います。

○議長（青木 善明） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 街灯問題とか道路問題とか、そういった問題が町民の間から非常に何とかならんとかとか、そういう要望が非常にふえています。前も町長に言ったことがあります。もう少しその環境面とか、そういった方向に目を向けていただきたいなと思いますので、役場職員の方も暇のある限り出てさろいてもらって、そこ辺も確認して、住民の目線に立ってやっていただきたいなと思います。

住民の生の声をちょっと言わせていただきましたけど、以上で終わります。

○議長（青木 善明） これで黒木正建議員の一般質問を終わります。

日程第1. 一般質問

○議長（青木 善明） 次に、2番、永友良和議員の質問を許します。

○2番（永友 良和君） 2番。おはようございます。去年は台風24号、ことしは15号、19号と日本列島に甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々に心よりお悔やみを申しますとともに、被害に遭われた皆様方に心よりお見舞い申し上げたいと思います。

そのような中で、暗いニュースの中で、ラグビーの世界カップで日本代表が大きな

外国人相手に勇気を持ってぶつかっていく姿、それや野球のプレミア12ですね、この前行われました。これ日本代表が優勝しなくちゃいけないだろうと周りから言われながら、そのプレッシャーに打ち勝って優勝した、こういう姿に被害に遭われた方々も少し元気づけになったのではないかと考えております。

それでは、通告に従いまして一般質問をさせていただきます。

きょうは、大きく4件についての質問になります。

まず1件目ですが、台風被害減少対策について。

これは、9月議会において中村議員からも質問がありましたが、再度町道沿いの樹木の伐採についてなど、1から3項目について発言者席にて行います。

2件目は、高鍋町地域農業リーダー経営安定支援事業補助金についてであります。

この件につきましても、1の年間予算額及び上限額など、1から3項目について発言者席にて行います。

3件目は、通学路の安全対策であります。皆さんも記憶に残っていると思いますが、ここの5月に滋賀県の大津市において、園児の列に車が突っ込み、数名の園児の命が奪われる事故がありました。あの現場をテレビの絵で見たときに、ガードレールかポールがあったらなと強く感じました。

また、6月にも兵庫県の一宮市で、園児2名が大けがをする車の事故が発生しました。

本町でも起こらないとは限らない車の事故、そのようなことから、本町での児童生徒の通学路の安全対策全般について、教育長に考えを伺います。

なお、1の通学路の安全点検の実施についてなど、6項目につきましては、発言者席より行います。

4件目は、本町と連携協定を結んでいるITコンサルティング会社、エイムネクストさんが実証実験を進めている地域IoTプラットフォームについてであります。

宮日新聞の支局長、きょうも傍聴席に来られておりますが、この支局長のコラムを宮日新聞で読みました。「用水路の雨量や高鍋湿原の来場者数のデータを収集できる実証実験を進めている。これは、全国からも注視されており、IoTを活用するまちづくりがどの自治体も抱える高齢化社会の問題解決につながるかもしれないことも、全国から注目を集めている」と書いてありました。

この全国に先駆けた取り組みを、本町にどのようにして生かしていこうと考えておられるのか、町長の考えを伺います。

なお、1の現在実証されている実験など、3項目については、発言者席にて行います。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） お答えいたします。

地域IoTプラットフォームの活用策についてでございますが、現在本町内での実施中のさまざまな実証実験から得られたデータや知見等を蓄積・活用しながら、人口減少による労働力不足や少子高齢化などの社会的課題の解決を図るとともに、持続可能な地域の発

展に官民協働で取り組んでまいりたいと考えております。

また、このITを活用した地域課題の解決手法である地域IoTプラットフォームを、官民協働で低廉な初期投資で整備した本町とエイムネクスト株式会社様との取り組みは、全国に先駆けた高鍋モデルとしてメディア等に取り上げられることで、本町のITを活用したまちづくりの知名度向上にも期待をしているところでございます。

○議長（青木 善明） 教育長。

○教育長（川上 浩君） 児童生徒の通学路の安全対策についてお答えいたします。

毎年年度初めに、各学校において通学路点検を行い、新たな危険箇所がないか、安全に登下校ができていないかなどのチェックを行っております。

また、教育委員会では、高鍋町通学路安全推進会議を設置し、危険箇所の抽出、調査、点検、そして対策、その検討・実施を行っております。この会議で道路管理者及び地元警察署からの技術的な助言を受けながら、通学路の安全確保に努めているところでございます。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） それでは、1項目めの台風被害の減少対策について伺います。

まず、町内の町道の本数は何本ぐらいあるのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 714路線となっております。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） それでは、714路線の中で、町道沿いに隣接している樹木が、特に杉の木に限って私はいいと思うんですが、隣接して生えている道路は何本ぐらいあるのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。正確に調査したわけではございませんが、100路線は超えると思います。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 100路線は、特にやっぱり山手のほうとか、木城のほうの老瀬、木ノ瀬に畑に上がる道とかも、ほとんどが隣接しております。

実は、先ほどの答弁の中でも、やっぱりそういう樹木が、杉が生えているところが多いというのがよくわかったんですが、前回の9月議会でも先ほど言いました中村議員が質問がありましたが、これ重複するかもしれませんが、今年の台風24号で、私の地区の上の別府と書いて上別府という地区があります。そのハウスの横の道路が町道なんです、大きな杉が倒れたことで、一緒に道路まで大陥没してしまいました。

これは、直すのに相当時間がかかっておりますし、費用も大幅な費用がかかっているんじゃないかなと、今きれいになって整備してもらっておりますが、大分あれを見ると費用もかかっているんじゃないかと思えます。

そのほかにも、そういうところがあったんじゃないかと思うんですよね。杉の木が町道に沿って立っていると、根っこは道路の中まではっています。これが倒れることによって、道路まで陥没するという、そういう事態が今年の24号ではあちらこちらで私は見られたような気がするんですね。

そこで、何年かかかると思うんですが、中村議員の言われたように、その町道沿いの杉の木を、もう本当道路に面しているところだけでいいんですよね。そこを切っておくだけで倒れないんですよね。

だから、そういう作業を100本以上あると、先ほど課長から言われましたが、そういう道路が。数年かかるだろうと思いますが、そういう被害を未然に防ぐためにも、切らせてもらうことはできないのかどうか。

実は前回の課長の答弁は、「地域の方々や所有者との相談をしながら、検討していきます」という答弁でありましたが、きょうの答弁はさてどうでしょう。お願いします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。その考えに変更はございません。まず所有者の考えと町の意向、いろんなこれに関しましては予算の関係することがございますので、中には「うちはもう切ってもらっていいよ」という方もいらっしゃるだろうし、「ちゃんと補償金をいただけないとだめだよ」というような、いろんなことがあると想定できます。

しかしながら、議員の申されているように、道路に面したところにある特に杉の木ですけど、それを伐採することによって道路災害が未然に防げるということも考えられますので、年数はかかるとは思いますけれども、所有者の方と今後も協議を進めていきたいと考えております。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 少しずつ考えが前向き、前向きになってきているようなちょっと気がしました。

今言われたように、Aさんは無償で切ってもいいぞと、ところが、Bさんはやっぱりお金をくれと言われたら、これはAさんにも払わなくちゃいけなくなりますよね、町としてはですね。その辺が本当難しいところだと思いますが、例えばその上別府のような大陥没していましたが、ああいう箇所がもし5カ所ぐらいあったと想定したときに、木を切らせてもらってその費用を払うほうがいいのか、5カ所修理するほうが費用がどっちがかからないのかと、こう天秤にかけたときは、どちらだと考えられますか、課長。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。現場の状況にもよると思いますし、のり面の長いところ、短いところ、議員の言われたように事前に杉の木を伐採したほうが、道路の災害復旧の工事費よりか安価でできる場所も確かにあるのではないかと思います。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） ぜひ年数かかってもいいと思いますので、ぜひこの件につきましては、町長を初め皆さんで検討して行ってほしいなと思っております。

それでは、2番目の高鍋町地域農業リーダー、ちょっと長いですが、経営安定支援事業補助金、これ町単独の補助金なんですね。

その質問に入る前に、きのうも中村議員や日高議員からも質問の中で、町長や課長の答弁もありました。農家に対する補助金の中で、強い農業の補助金、あるいは産地パワーアップ事業補助金とかありますね、国のね。

これ5割補助で大変いい補助金なんですが、課長の答弁があったように、大規模農家じゃないといけないとか、ある程度のそれを使えば収益を上げにやいけないとか、そういう本当にハードルが高い補助金であります。

ぜひ私たち12日に認定農家の集まりもありますが、認定農家としましても皆さんに声かけして、国に要望書なり県を通してそういうのを条件緩和ですね、のために、たまたま今もう大臣が宮崎県出身です。この間に私たちも、私も個人的にも、ぜひ大臣のところに電話するなりして、この緩和策を促していきたいなと考えております。

そこで、6月議会で私台風被害に備えるために、事前にハウスを守るための発電機等の補助はできないのかという質問に対して、町長は「この地域農業リーダー経営安定支援事業補助金を利用してもらえば」という明確な答弁がありました。これは、本当に農家にとってはありがたい補助金であります。町単独ではあります。

そこで、この補助金の年間予算額及び上限額は幾らになっているのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。まず、年間の予算額ですけども、300万円となっております。また、限度額は今1経営体当たり30万円となっております。

限度額につきましては、昨年度までは1経営体当たり50万円としておりましたけども、より多くの方に御利用いただけるように、本年度から予算枠はそのまま、限度額のほうを30万円に引き下げ、利用件数をそれまでの6件程度から10件程度へと拡大したところでございます。

以上でございます。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 確かに、ことしの31年度の当初予算額を見ますと、6経営体掛けるの50万円、300万円ということでしたが、今の話では利用者が多くて、限度額も50万円から30万円に下げて、できるだけ多くの人に利用してもらおうというふうになったということでありましたが、いつごろにこの30万円という限度額を設定したんでしょうか。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。ことしの予算を編成する際にも、ちょっとそういう話をしています、4月から一応30万円ということで決定しております。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） はい、わかりました。じゃあ、もう当初予算出ですぐ30万円に変更したということですね。もう様子がすぐわかったということでもいいんですかね。

それでは、現在までのこの利用された人数はどれくらいいるのかお伺いいたします。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。事業の利用者についてでございますけども、この事業は28年度に事業が廃止されておまして、まず28年度が6経営体でございます。29年度が7経営体、30年度が6経営体、本年度が10経営体ということになっております。

以上でございます。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 本年度が一番利用者が多いということで、やっぱりこの台風がだんだん最近大きくなってきたということで、被害も大きいということで、事前にやっぱりいろいろ準備される方、例えばハウスだったら、電気が停電になったら換気扇回りませんので、ハウスが吹き飛んでしまいます。だから、発電機を買おうとか、リースしようとかいう方が、今後もふえてくるだろうと思っております。

そこで、今後28年度からこの補助金始まっておりますが、今後継続していく予定はあるのかどうか伺います。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。この事業は、引き続き継続していきたいというふうに考えております。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。ありがとうございます。これぜひそういった国のさっき言ったような産地パワーアップとか強い農業、なかなか使いたくても使えない。私課長におととい聞いたら、高鍋では申請を2件出したけど、町に突き返された。高鍋では当てはまる農家はいないと、この国の補助金にですね、それぐらい何かハードルが高過ぎるんですね。

だから、せめてこの高鍋町単独であります、この補助金だけでもぜひ残してあげてほしいなと思っております。30万円の限度額なんです、これももう少しあれば、限度額もと思って、最後のここの質問になります、この予算枠の300万円でしたが、31年度は。拡大はできないものかどうか伺いたいと思います。町長どうでしょうか。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 町長。先ほど農業政策課長の答弁にもありましたが、この事業を継続していくことが農業を営む方々の負担軽減、経営の安定につながるものと考えており

ますので、積極的に事業を活用していただきたいと考えております。

予算枠の拡大につきましては、今後の財政事情を踏まえ、将来世代に負担を残さない財政運営を念頭に、しっかりと検討してまいりたいと考えております。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） ありがとうございます。ぜひ100万円でも200万円でも拡大していただいて、利用する人の枠も広げたり、できれば10万円ふやして限度額40万円にしてもらっても、そういうことでもよろしいですので、ぜひとも町長を初め検討してほしいなと思っております。

では、3番目の。

○議長（青木 善明） 永友良和議員、ここで暫時休憩したいと思うんですが、よろしいでしょうか。

○2番（永友 良和君） はい、いいですよ。

○議長（青木 善明） それでは、ここで暫時休憩したいと思います。11時10分より再開いたします。

午前11時00分休憩

.....
午前11時10分再開

○議長（青木 善明） 再開いたします。

2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） ちょっと休憩が入って、どこまでいったか忘れてしまいましたが、3番の通学路の安全対策ですね。

これに入る前に、きょうもちょっと傍聴に来られているんですが、石川県から高鍋町に在住してもらっている方なんです、その方から実は「高鍋の小学校の子どもたちも含め、子どもたちは大変よく挨拶をしてくれる」と、「びっくりしています」ということを私言われました。本当にうれしいなと思っております。このことを教育長にもお伝えしておきたいと思っております。

それでは、先ほどの教育長の答弁の中と重複するかもしれませんが、項目に上げておりましたので、ちょっと具体的に聞いていきたいと思いますが、まず通学路の安全点検の実施なんです、これはされているのかどうか伺いたと思います。されているとしたら、年に何回ぐらいされているのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 教育総務課長。

○教育総務課長（野中 康弘君） 教育総務課長。通学路の安全点検の実施についてでございますが、学期ごとに各地区の児童を集め、通学路の危険箇所についての話し合いの場を設け、交通安全指導を行っているところでございます。

また、5月の滋賀県での事故を受け、未就学児が日常的に集団で移動する経路の安全点検も含め、8月に高鍋町通学路交通安全プログラムに係る合同点検を実施し、危険箇所の

点検及び対策についての協議を行ったところでございます。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 今課長からの答弁で、学期ごとにとということが言われました。ということは、年に3回ということでもいいんですかね、把握して。はい、わかりました。

それでは、東西小中4校ありますが、その校区内での危険だと思われる箇所はあるのかどうか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 教育総務課長。

○教育総務課長（野中 康弘君） 教育総務課長。4校区内の危険箇所についてでございますが、先ほど申した8月の合同点検では、歩道が狭い、歩道がない、交通量が多く危険を感じるなど、28カ所の危険箇所についての点検を行ったところでございます。

以上です。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。28カ所あるということですよ。やっぱり歩道がないということで、切原のとも歩道がなく、私前県議会議員さんと一緒に写真も撮って言ったことあるんですけど、あそこまだちょっと直っておりませんが、そういうところもありますし、じゃあその危険箇所28カ所あるということですが、その対応はどのようになされているのか、あるいはなされてきたのかお伺いいたします。

○議長（青木 善明） 教育総務課長。

○教育総務課長（野中 康弘君） 教育総務課長。危険箇所への対応についてでございますが、先ほど申した合同点検につきましては、学校関係者、警察署、道路管理者等が出席をしまして、協議を行っております。

その中で、例えば交通安全の取り締まりで解決するもの、それから歩道設置が必要なハード的な改良が必要なものもございます。

それから、ボランティア等による見守りなど、それぞれの立場で実施が可能な対応を協議して行っているところでございます。

以上です。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。ということは、対応はなされてきているということですよ。また、ポールなど設置した場所は、実際はポールとか、そういう危険を取り除くためのそういう設備を設置した場所はあるんでしょうか。

○議長（青木 善明） 教育総務課長。

○教育総務課長（野中 康弘君） 教育総務課長。先ほど合同点検の内容につきましては、対策一覧表ということでホームページのほうにも掲載をしております。その中で実施中の箇所であったり、検討中の箇所等も含めて掲載をしておりますが、道路改良等を行って歩道を設置した等の箇所もございますので、ちょっと数については申しわけありませんが、そういった対策はしております。

以上です。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。私ことしの7月、夏休みに入る前ですが、登校する児童と一緒に歩いて、カメラを持って行きました。その中で、例えば西小であれば、ちょうど北門のほうであそこから、木城線から来るときに信号待ちするところがあるんですが、簡易郵便局があるんですが、あそこがちょっとコンクリートでなっているのは縁石ですか、縁石がちょっと幅広い間に1つぽつんとあるんですね。

待っている場所は広くて、木城線、車が突っ込んできたらちょっと危ないかと、一瞬にして子どもたちはねられるであろうなと思ったのが1つと、東小校区のほうを見て回っていたら、きのうも太陽のあれで事故がありましたよね、見えなかったという。

あそのMASUDAスタジアムのほうから出てくる子どもたちがいます。横断歩道を渡るんですよ、テスニ場のとこの。あそこもちょっと縁石はあるんですが、その太陽がまぶしくて、私の頭じゃありませんけど、突っ込んで来られたらあそこもちょっと危ないなというは感じました。そういうところはまた点検の際にも重視してもらっていただければいいなと思っております。

本町は、見守りの方々が朝夕本当に頑張っておられます。本当に感謝の気持ちでいっぱいなんですけど、そこで、今後も含めてこの学校とこの見守り隊の方々、この連携をどのようにとっていこうというふうに考えておられるのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 教育総務課長。

○教育総務課長（野中 康弘君） 教育総務課長。学校と見守り隊との連携についてでございますが、議員がおっしゃったように、本町では毎日児童生徒の登下校時における安全見守りのため、自主的に交差点等で活動していただいている方が多数おられ、町教育委員会、学校とも大変感謝をしているところでございます。

見守り隊との連携につきましては、毎年5月に開催されます自治公民館連絡協議会総会におきまして、見守り隊への協力を呼びかけているほか、コミュニティ・スクールにおいて見守り活動への協力依頼を行っているところでございます。

また、東校区では子ども見守り感謝の集いを開催し、活動への感謝を直接伝える場を設定している活動をしております。

今後も見守り隊への協力者をふやす取り組みを継続してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。今課長答弁がありました。本当にそういう見守り隊の方々に感謝の気持ちを示すということは、大事なことだと思っております。

本町は、もう宮崎県内で見守り隊の人数は、私はトップクラスだと自負しております。物すごい人数の方々が朝夕協力していただいているということで。

そこで、1つちょっとこれは関連ですが、交通指導員さんたちがおられますが、この本町の交通指導員さんたちの定数というのはあるのか。そして、現在その定数に対して足りているかどうか、お伺いいたしたいと思います。

○議長（青木 善明） 総務課長。

○総務課長（河野 辰己君） 総務課長。交通指導員の定数につきましては、12名となっております。現在11名で交通指導活動等を行っているところでございます。

以上でございます。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。1人ちょっと定数には足りないということですよ。なかなかこれになってくれる方が今高齢化ですよ、結局交通指導員さんたちもいないということで、またここもぜひ募集かけてでも、また協力をお願いしていただければと思います。それでは、5番目になりますが、学校と児童生徒、それと保護者との危険箇所等の確認。それとこの連携体制はどのようにとっていかうと考えておられるのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 教育総務課長。

○教育総務課長（野中 康弘君） 教育総務課長。各地区から抽出されました危険箇所を、先ほど申したように地区ごとの集会で児童生徒に伝えているほか、危険箇所を想定した交通安全教室を実施しているところでございます。

また、教職員にも抽出された危険箇所の地図を配布し、周知をしているところでございます。今後も引き続き定期的な合同点検を学校、PTA、警察、道路管理者等と連携しながら実施していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。ありがとうございます。芸能界、芸能人の風見しんごさんってみんな御存じだと思いますが、えみるちゃんという娘さんがトラックにはねられて亡くしましたよね。今ラジオをつけますと、1日に1回は必ずこの風見しんごさんが「子どもと一緒に学校の道を歩きましょう」と、「1回でいいから歩きましょう」と、「子どもは絶対気をつけるはずですよ」というふうな訴えをラジオで毎日流れております。

そこで、やっぱりぜひ教育委員会としても、学校を通して保護者の方にも1回は、特に小学校に上がった子どもたちにとっては初めての道ですから、必ず学校まで連れて行って、年に1回でも2回でもいいです、連れて行って「ここは危ないよ」と、しっかり子どもたちの頭の中に植え付けていってほしいなと、そういう啓発も教育委員会から学校を通して行っていってもらえれば幸いだと思っております。

最後に、6番目の竹鳩橋のこの注意書きの看板のことについて質問いたします。

この注意書きの看板は、今2カ所にあるんですが、私2回通ってみました。地区の人が、「あれ見にくいぞ」と、「見落としているぞ」ということで、2回見に行って来ましたが、本当に知らない人は見落としてしまいます。

その注意書きには何と書いてあるかという、「この橋は歩行者・自転車が優先です」と書いてあります。ですから、「橋を渡っている人がいたら、車は待っておいてください」と書いてあるんです。

ところが、「今インターができて地元じゃない人たちが数多く通るようになった」と、地元の人声です。そこで、ルールを知らない人が自転車が通っていきようが何しようが、突っ込んで来る人もたくさんいると。自転車がふらふらになってよけるのに、もう川に落ちる寸前までいったこともあったりして、大変危険な状態である。あの看板をもっと見やすい位置に持っていけないかという、これ地元の人からの要望であります、その点に関してどうお考えでしょうか。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。今言われた看板については、堤防の上にある看板だと思いますが、橋のたもとに看板を立てるのが一番わかるかと思うんですが、その場所は洪水時には浸水する場所となりますので、国土交通省とも協議を行いますが、そのほかにも運転される方がわかるような看板に工夫をしまいたいと考えております。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。私も停止位置にちっちゃくてもいいので、大雨で沈むときは移動できるような看板でもいいなと思ったんです。

今課長の答弁の中に、そういういろいろ検討して、位置とかも考えていくという答弁をいただきましたので、ぜひよろしく事故がないうちに、これはすぐにでもできることじゃないかなと思っておりますので、地元の人々の要望もあります。

朝あそこは見守り隊の方がいないそうです、聞いてみたら。それで、1人女の先生が今保育園に行っている、1人でいつもやってくれているということで、もう高齢者なんです、本当に感謝でいっぱいなんです、そういう人たちが1人しかいないということで、皆さん大変心配されておりますので、ぜひできるだけ早急な対応をお願いしたいと思っております。

現在、本県において昨年車のアクセルとブレーキを間違えた事故が何件起こっていると思うでしょうか。実は104件起こっているんですよ、県内でアクセル、ブレーキの踏み違いがですね。これがいつ本町の子どもたちに降りかぶってくるかわかりません。将来、私たちのこの町を担っていく大切な子どもたちの命を未然に守るためにも、細やかな安全点検、危険箇所の整備など、積極的な取り組みを実施してほしいと思っております。

それでは、最後の4番目の質問に入ります。

地域IoTプラットフォームについてであります、現在このエイムネクストさんが行っている実証実験は、どのようなものがあるのか、お知らせ願いたいと思っております。

○議長（青木 善明） 地域政策課長。

○地域政策課長（渡部 忠士君） 地域政策課長。お答えいたします。

現在、高鍋町内では、観光施設の来場者数の計測、畑ですとか農業用ハウスでの温度、

湿度、二酸化炭素濃度等のモニタリング、水路の水位測定、GPSを利用いたしました車両位置情報の補足、また小売店舗内の冷蔵庫や冷凍庫の温度管理、また事務所セキュリティというようなさまざまな実証実験を行っているところでございます。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。今もうたくさんの言われたように実証実験がなされているわけですね。実際、私たちの畑の横の、うちの隣の畑でもそういう湿度や温度の実証実験、太陽光パネルを利用して行われております。本当にこれは利用価値が高くなってくるんじゃないかなと私思っております。

そこで、このGPSを利用した車の配達ですね、その位置の確認もしているということでしたので、この災害弱者、言葉はちょっと当てはまらないんですが、災害時に車椅子等で避難がしにくいとか、もう高齢によって急いで歩いて避難ができない、車がない、そういう人たちの災害弱者へのこの取り組みはできないのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 地域政策課長。

○地域政策課長（渡部 忠士君） 地域政策課長。GPSを利用いたしました災害弱者への取り組みについてでございますけれども、GPSや本町内の現在設置してございますLPWAネットワークを利用して、対象者等の位置情報を把握するという事は、技術的には可能であるというふうに伺っているところでございます。

災害弱者に向けた取り組みにつきましては、どのような支援措置が必要であるのか、多くの検討課題がございます。その課題解決の一つの手段として、どのような場面でそのGPSの活用が求められるのか、またその選択が最適なのか、これからさまざまな検討をしていかなければならないというふうに考えているところでございます。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 私も実際このエイムネクストさんにことしの8月に行きまして、取材をしてみました。その中で、太陽光を利用したセンサーを使って玄関のドアに取り付け、いつその人が外出したか、いつ帰って来たかがわかるような、そういう実証実験も社員の方の社宅というか、アパートを使って行っているというふうにお聞きしております。

これは、ひとり暮らしの高齢者の方々にとっても、その家族にとっても、離れたところにいる家族にとっても、画期的なことではないかと思っております。これから先そういった福祉関係とかとの連携や、住民サービスのこれが向上にも私はつながってくるんじゃないかなと期待しているんですが、町長どうでしょうか。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 町長。只今御紹介のありましたドアセンサー等による在室モニタリングに関しまして、初期の段階のシステム構築、導入実験を経て、現在は実際に単身高齢者の居宅での実用実験が開始されております。

各種のセンサーで取得した情報や緊急時のアラートメッセージが、海外に住んでいる家

族へ届くような形で実験が行われているとお聞きしております。

このような実証実験を繰り返しながら、議員のおっしゃるように、高齢者等見守りサービスの開発など、町民の安心・安全な暮らしにつながるような実用モデルに発展することを期待しておりますので、引き続きサポートしてまいりたいと考えております。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 2番。もう実際ひとり暮らしの高齢者の方で、実証実験も行われているということなんですね。これ知りませんでした。こういう画期的なことですので、本当にこれから住民サービスにも、福祉の関連にもつながっていくんじゃないかなと思います。

それじゃ、先ほど町長答弁がありました。もう一度今後本町とこのエイムネクストさんとの連携を、どのようにしていこうと、連携体制をですね、具体的にもしそこも踏まえて答弁できれば、よろしく願いいたします。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 今後の本町とエイムネクスト株式会社様との連携についてでございますが、その第一段階として、現在さまざまな分野での実証実験に取り組んでいるところでございます。

第二段階では、実証実験を通して得られた知見やデータ等を集積しながら、プロジェクト参加企業を呼び込み、本町への定着化を図る施策を展開してまいります。

第三段階では、地場企業とのI o T事業連携による新たなサービスの創出や農家等へのI o T普及による効率化、生産性向上など、I o T普及による恩恵を広く町民の皆様が受けられる取り組みを図ってまいる考えでございます。

そのためにも、エイムネクスト株式会社様とは、一層連携を密にして協働で取り組んでまいりたいと考えております。

○議長（青木 善明） 2番、永友良和議員。

○2番（永友 良和君） 具体的な答弁を本当にありがとうございます。これは、1つ私から提案ですが、このエイムネクストさんを利用してといったらいけません。学校関連との連携ということで、実は都城市では小学生を対象に、希望者にI Cタグを無償で配りまして、児童が学校の門に朝いつ入ったか、何時に入ったか、いつ学校の門から下校して出てきたかというのがわかるような取り組みを行っております。

全部で34校あるそうなんです。来年の2月までには全校、全部の学校にこのI Cタグを希望者ですがお配りして、そういう取り組みをしていきたいと。

事務局は、これはNPO法人だそうですが、着いたもん、もう着いたものついたもんでしょうね、「ツイタもん」というところが事務局になって、そこで連絡を取り合っている。親から連絡があれば、そこがすぐに「今おたくのお子さんは何時に校門を出ましたよ」というふうなつながりができているということで、これは親の安心にもつながるということで、来年の2月までには全部の学校に普及したいということでした。

この都城市では、教育総務課が中心となって行っておりますが、本町でも教育委員会が主体となって、このエイムネクストさんと連携して、事務局に委託してエイムネクストさんを、そういう取り組みを考えてみてはどうかと私思いますが、教育長どうでしょうか。

○議長（青木 善明） 教育長。

○教育長（川上 浩君） 教育長。御提案のＩＣタグについてでございますけれども、昨日中村議員に対して、教育総務課長がお答えいたしましたとおり、現在町内４校において既に連絡用メールが普及しておりまして、緊急時の連絡等については、こちらの取り組みの充実を図りたいと考えております。

今いろいろありましたけれども、便利で非常に合理的に思えるＩＣタグですけれども、その導入によってそのデータの確認だけで子どもの見守りがなされているといった誤解が助長されないか、そういう危惧もございます。

子どもたちの見守りにつきましては、現在先ほどもありましたように、地域の方々にも御協力をいただいているところでありますけれども、直にこれは高鍋町のらしさとも言えると思うんですが、子どもと声を交わし、心配な状況があれば関係者同士で情報を取り合う現在の形が望ましいのではないかと考えております。

なお、エイムネクスト様との連携につきましては、本年８月、町内の中学３年生対象のキャリア教育において、清社長の講話、それからその後希望者対象でありましたけれども、オフィス見学・体験を実施しておりまして、非常に大変有意義な内容でございました。

そのほか、町立図書館と学校の図書館とのネットワークづくり等において御相談申し上げていきたいと、そのような予定でありますので、今後さらに有効な連携がなされるよう努めていきたいと考えているところであります。

○議長（青木 善明） ２番、永友良和議員。

○２番（永友 良和君） 今の答弁でわかりました。連絡用メールがあるというのは、私ちょっと勉強不足で知りませんでしたので、そういうこれに同様するようなシステムが本町にもあるんだということで、ちょっと安心いたしました。また今後いろんな形でこのエイムネクストさんとの連携も、学校として考えていってほしいなと思っております。

町長の答弁も聞くはずでしたが、もう今教育長がしっかり答弁していただきましたので、ここはもう省略いたしたいと思えます。

本日は、通学路の安全対策についても質問しましたが、子どもたちが安心して学校生活は１日の大半を過ごすところであります。送れるよう、また親にとっても安心感が持てるような、高鍋の学校に通わせてよかったと思えるような、これからも前向きで積極的な取り組みを期待いたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（青木 善明） これで、永友良和議員の一般質問を終わります。

日程第１． 一般質問

○議長（青木 善明） 次に、１２番、春成勇議員の質問を許します。

○12番（春成 勇君） 12番。通告に従いまして一般質問させていただきます。

自然災害について。

全国各地で温暖化による台風災害やゲリラ豪雨の災害が起きているが、町の対応を伺います。

この件については、町長答弁お願いいたします。

次に、町内にあるため池の現状についてと道路の現状についての質問で、道路の幅員が4メートル未満の町道について、そして里道の現状についてを発言者席にて質問いたします。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 町長。お答えいたします。

町の台風等の災害対応につきましては、高鍋町地域防災計画に基づいて実施しております。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。近年、短時間に集中的に大雨を降らせるゲリラ豪雨や大型台風等の被害が全国で多発し、新たな対応を迫られています。

治水対策の考え方は、災害を安全に防ぐという考えよりも、被害を最小限に抑える減災への考えに変わっていかないといけないのではないかと思います。

千葉県では、電線の鉄塔が倒れ停電が長期化したり、ゴルフ場の鉄柱が倒れたり、千葉県のまとめでは発表によりますと、家屋被害は9月25日で1万2,900戸にのぼっております。

私もちょうど関東のほうへ行く予定があり、千葉のほうを見てまいりました。復旧までには相当の月日がかかると思われました。

また、延岡市では、ことしの台風17号の接近で風速50メートルと推定される突風災害による建物の一部損害が483棟あったとのこと。高鍋町でも、42年前に大きな竜巻があったことを記憶しております。今回の台風19号では、消防署によると住宅被害の全・半壊が14都道府県で2,377棟、一部損壊が28都道府県で3,475棟、床上浸水は16都県で2万9,392棟、床下浸水は21都県で3万3,413棟でした。

国土交通省によると、土砂災害は20都県550件、堤防の決壊は7県71河川の139カ所が河川災害を受けました。

高鍋町の小丸川では、何年か前に堤防が決壊するところだったことがあると、それはいつごろ、どの場所で、あと何メートルぐらいで決壊するところだったのでしょうか。そのことについて質問いたします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。お答えします。

平成17年9月の台風14号において、小丸川の左岸側、東児湯消防組合と切原川との合流部の間で、約10メートル程度の漏水が確認されたと聞いております。

- 議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。
- 12番（春成 勇君） 12番。このとき、避難情報や避難はどうか、お伺いいたします。
- 議長（青木 善明） 建設管理課長。
- 建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。このときには、小丸大橋の水位観測所で氾濫危険水位を超えたときだと記憶しております。そのときには避難指示が出ております。
- 議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。
- 12番（春成 勇君） 12番。国土交通省の堤防決壊のシミュレーションの映像を見ることがありますが、現在も国土交通省にあるのか、映像を見せていただいて、町民の啓発を行ってはどうか、お伺いいたします。
- 議長（青木 善明） 建設管理課長。
- 建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。国土交通省に映像は残っていると聞いております。活用できるのであれば、出前講座等の資料として使っていきたいと考えております。
- 議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。
- 12番（春成 勇君） ぜひお願いいたします。高鍋町の災害危険箇所はあるのか、お伺いいたします。災害危険河川ですね、河川はあるのかお伺いする。
- 議長（青木 善明） 建設管理課長。
- 建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。只今の12番議員の質問の中で、災害危険河川という言葉がありましたが、その意味と定義がよくわかりませんので、したがって、確認したいので議長の許可をお願いします。
- 議長（青木 善明） 只今の件については、これを許可します。回答の時間は、質問時間に含めませんので、12番、春成議員はこのことに関する部分だけお答え願います。
- 12番（春成 勇君） 堤防ができていないところがあるんじゃないでしょうか。そこはわかりませんか。土手だけができているというような感じ。
- 議長（青木 善明） 建設管理課長。
- 建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。災害危険河川というキーワードで調査とか、そういう言葉を使った業務がございましたので、その意味がわかりませんでした。今の議員の質問でいきますと、小丸川に無堤が1カ所ございます。
- 議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。
- 12番（春成 勇君） 12番。現在、小丸川や切原川のしゅんせつを行っております。土砂の堆積が多いようでありまして。まだまだしゅんせつが行われないうけないと思っておりますが、国への要望は行っているのか、お伺いいたします。しゅんせつの件です。
- 議長（青木 善明） 建設管理課長。
- 建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。しゅんせつについては、今後も予算の範囲内で実施していきたいと聞いております。国は、小丸川治水同盟会の要望として、河道

内の堆積とその撤去を要望しております。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。よろしくお願ひいたします。

次に、急傾斜地で松本地区は工事は終了しています。現在、脇地区のほうを行っていますが、まだこのほかに急傾斜地を行う地区があるのか、お伺ひいたします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。そのほかにも対策の必要な箇所がございますので、今後急傾斜対策工事といいましても、県が行う部分、町が行う部分の事業がありますので、県と協議を進めていきたいと考えております。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。それは大体何カ所ぐらいありますか。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。急傾斜地が指定が40カ所で、9カ所が完了しております。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。まだまだあるみたいですね。

次ですね、昨年の台風24号で太平寺地区の宮田川沿いの民地における倒木撤去は終わったんですけど、その民地のそばにある山肌が崩れかけています。対応をお伺ひします。

また、もう一つありまして、家床地区にあるため池のそばの山肌が崩れかかっています。その対応と倒木もそのまま、水路がふさがれてしまうことが懸念されます。この件も合わせてどう対応されるのか、お伺ひいたします。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。太平寺地区と家床の蛸の口ため池の水路付近で発生している山地災害についてでございますけれども、それぞれ県のほうに状況報告を行っておりますけれども、県内で緊急に対応すべき案件が多いこと、また御指摘の箇所がそういった事業の実施要件に該当しにくいということもありまして、県内の優先度では順位が低いということもありまして、現状では該当になっていないというのが現状でございます。

なお、蛸の口のほうの水路につきましては、昨年度の災害復旧工事で原形復旧を行ったところでございます。

今後、その水路に隣接します民地の山の斜面の状況等を観察しながら、追加の工事が必要かどうか、また検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。高鍋町内にあるため池の現状についてですが、今回の台風19号でため池の築堤の貯水外通流し、決壊しましたが、町内のため池は大丈夫なのかお伺ひします。また、町内のため池の数と、その池の名称ですかね、それをお伺ひした

いと思います。

○議長（青木 善明） 政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。町内のため池につきましては、現在まで決壊した事例はございません。それぞれ洪水ばきを備えてございますので、貯水量が多くなれば自然と流れ出す仕組みとなっております。

また、町内のため池の数につきましては、8カ所でございます。農業用として使われておりますため池は、持田、檜谷の檜谷上ため池、檜谷中ため池、檜谷下ため池、あと持田蛸の口の蛸の口ため池の計4カ所でございます。

使用されていないため池につきましては、上江字加志揚の加志揚ため池、上江字老瀬の老瀬ため池、上江字北中原の中原ため池、上江字羽根田の坪草ため池の計4カ所でございます。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。この中で老瀬のため池は現在使用していないんでしょうかね。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。使用していないというふうに聞いております。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。老瀬のため池は、現在使用していないと今の答弁でしたけど、老瀬の坂は今年の台風24号で倒木や擁壁の崩壊などがありまして、老瀬坂を濁流が流れて、田んぼの土砂が堆積したとのこと。またですね、前もあったんですけど。

それと、農業用水がありまして、木城と高鍋が農水を使用しています。今後この老瀬の坂は、災害があると考えられます。この場所のしっかりとした治山事業を考えてはどうか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。治山事業につきましては、基本的に県の事業になるんですけども、先ほども申したとおり、要件がなかなか厳しいものがございまして、例えば人家5軒、5戸以上の保護でありますとか、主要公共施設の保護など、そういった事業要件がございますので、この地区がこういった治山事業のほうに該当するのかどうか、また国の農林振興局のほうとも相談してみたいというふうに思っております。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。先ほどもちょっと言いましたけど、濁流が流れて田んぼのほうに土砂が堆積したときに、土砂を撤去するために個人に負担をしたそうです。現在はどのような状態になっているのか、お伺いします。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。昨年こちらも復旧工事を行っているところでございます。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。それでは、次に道路の幅員が4メートル未満の町道についての質問です。

道路幅が4メートル未満の町道が数多く見られます。そういう道路付近の問題点は、まず避難や道路車両の支障を来します。そして、また次世代の若者が土地を活用しようとしても、建築や土地の売却が難しかったりすることも予想されます。

そこで、先ほども町道は何本あったのかという質問ありましたが、町道は何本あって、幅員4メートル未満の町道はうち何本あるのか、お伺いします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。町道は714本ありまして、4メートル未満の道路ですけれども、714路線あって1路線全体が4メートル未満の路線は、74路線ございます。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。次です。次に里道の管理についてなんですけど、樋渡地区の里道で2棟のアパートがありまして、そのうち1棟は無人のアパートになっております。こういう場合、里道の草刈りの管理とか、そういうところの管理は誰がしていくのか、お伺いします。アパートのほうも、たしかその人たちもしないと思いますけど、無人だったらなおさないと思いますが、その辺のとはどう考えているのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。里道の管理は町でございまして。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） それだったらどうするんでしょうか。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。現場を確認して、必要であれば草刈り等を行うこととなります。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） 12番。平成30年6月に、下屋敷の里道の道路改良について質問したことがあるんですけど、そのときの答弁では、現場を調査して今後考えるという答弁でしたが、現在今はどうなっているのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 建設管理課長。

○建設管理課長（恵利 弘一君） 建設管理課長。町道も含めまして、道路の整備に関する要望は非常に議員も御存じのとおり、非常に多いものでございます。今言われた下屋敷の里道についても、現場は確認しております。

その中で、財政上の問題もありますけれども、現在要望として受けとめておりますので、その整備がいつになるかということは、今のところお答えできません。

○議長（青木 善明） 12番、春成勇議員。

○12番（春成 勇君） はい、わかりましたと言わんといかんのでしょうかね。

やっぱり高鍋町は、道路が狭くて萩原とか緊急車両というか、自動車ポンプとか、そういうのが入っていけない状態のところがあります。

そして、ほかでも御屋敷でも樋渡でもいっぱいあります。そういう狭いところがありますので、将来のために道路を少しでも広げていただけるような施策を考えていてもらいたいと思います。

以上で質問を終わります。

○議長（青木 善明） これで、春成勇議員の一般質問を終わります。

ここでしばらく休憩したいと思います。午後1時より再開いたします。

午前11時58分休憩

.....

午後1時00分再開

○議長（青木 善明） 再開いたします。

.....

日程第1. 一般質問

○議長（青木 善明） 次に、6番、後藤正弘議員の質問を許します。

○6番（後藤 正弘君） 6番、後藤正弘。皆様、こんにちは。後藤正弘です。宮崎県はよい子どもが育つ都道府県ランキング2回連続1位、また、合計特殊出生率2位を獲得するなど、自然環境、そして子育て環境に適したところだと思います。

しかし、一方では離婚率が全国で第2位、二組に一組は離婚しているのが現状で、県民所得については全国45位、賃金においては全国最下位、7人に1人は貧困、若者の定着が少ないと、たくさんの課題を抱えています。

しかしながら、こういった課題を克服することにより、若い人たちが宮崎県に住み、そして家庭を持ちたい、仕事をしたいと思ってもらえる児湯郡高鍋町になると思います。

急速な人口減少が進む中、宮崎県知事は、昨年の知事選において一番に人口減少対策を上げられ、6月の定例議会においても、補正予算に思い切った予算をつけられ、計画を実行されようと聞き及んでおりますが、我が高鍋町においても県と連携し、人口減少対策をする必要があると考えますが、「時遅し」という声も多く聞こえてきます。しかしながら、今人口減少対策に取り組みないと大変なことになると考えます。

実際、高鍋町の推定人口によると、平成21年10月1日では2万2,015名いた人口も、令和元年10月1日現在では、2万185名であります。約10年間で1,830名減少しております。将来の高鍋の現状を見ると、専門家統計では、将来2045年現在、26年後は1万5,081名と推計されており、人口減少対策は喫緊に迫った問題だと思

っております。

それでは、一般質問をいたします。

質問事項1、ヤンバルトサカヤスデ対策について、2、人口減少問題について質問をいたします。

2、人口減少問題についての①、人口減少が加速していると思うが、町としてどのような人口減少対策に取り組むのか、町長のお考えをお聞かせください。

以上、登壇としての質問とし、1、ヤンバルトサカヤスデ対策についての詳細及び2、人口減少問題についての詳細については、発言者席にて質問いたします。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 町長。お答えいたします。

人口減少対策の取り組みについてでございますが、既に人口減少社会に突入している現状は、本町においても例外ではなく、これは今後も避けて通ることができない事実であると認識しております。

本町としましては、これまでの移住・定住施策とあわせて、地域に継続的にかかわる関係人口の考え方と、誰でも活躍できる基盤づくりや人を育てる視点をさらに取り入れながら、人口減少社会においても持続可能なまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

現在、策定に向けて作業を進めております次期高鍋町まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、そのような新たな視点や社会動向等も取り入れてまいりたいと考えているところです。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。まず初めに、ヤンバルトサカヤスデ対策についてですが、1番に現在の発生状況及び対応についてお伺いします。

町や町民が不快害虫ヤンバルトサカヤスデを把握して、対策に乗り出した年数は何年ぐらいになるか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 町民生活課長。町といたしましては、平成23年度から対応をいたしておりますので、9年目になります。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。それでは、次にヤンバルトサカヤスデがどのような地域へ現在拡大しているのか、地域でお答えください。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 町民生活課長。現在生息を確認している地区につきましては、上永谷、新山、脇、牛牧、南牛牧、市の山、中尾、小並、正祐寺の9地区でございます。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。それでは、次に発生地でもあります雑木林、農地等、現在

どのような駆除対策を行っているのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 町民生活課長。雑木林につきましては、特に大量発生地や発生源となっておりますところを関係機関と連携し、草木の伐採及び駆除剤の散布を行っております。

農地につきましては、個人所有であること、また駆除剤による影響等が考えられますから、対応はしておりません。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。それでは、県道、町道の側溝及び道路際の駆除対策をどのように行っているのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 町民生活課長。県道につきましては、高鍋土木事務所に連絡をとっております。町道につきましては、関係各課と協力をしながら草刈り等を行い、その草の消毒及び処分を行うことで環境整備、また駆除剤の散布などを行っております。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。私有地及び私有地道路に関しての駆除はどのように行っているのか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 町民生活課長。私道を含め私有地につきましては、所有者や管理者による駆除対応をお願いをしております。

また、町が費用の半分を負担する駆除剤共同購入事業を有効的に活用いただいているところです。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。それでは、春夏秋冬どのタイミングが一番発生していると思われるか、お答えください。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） ヤンバルトサカヤスデの移動は主に春と秋に行われます。特に、9月から11月にかけてが成体による集団での大移動が起こっております。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。薬剤の対応についてお伺いいたします。

現在、何種類の薬を使い、どのくらいの費用と量で住民などに折半、配布しているのか、お聞きいたします。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 町民生活課長。駆除剤の共同購入事業につきましては、3種類の駆除剤を現在対象といたしております。1世帯当たり年間8袋を上限とし、その半額を町が負担し、共同で駆除剤を購入をしております。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。薬剤の種類によって効力の差があると思うので、それぞれの薬剤の特徴についてお伺いいたします。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 共同購入で取り扱っております3種類の駆除剤につきましては、特徴は同じものとなっております。効力につきましても、差があるという認識はしておりません。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 薬剤は種類によって効力の差はそんなにならぬということで、値段だけがちょっと違うということによろしいのでしょうか。

それでは、②の児湯郡（市）町村議会議長会で、今回大量に発生しているヤンバルトサカヤスデのことで、知事に対して永友議員からいろいろお世話になりまして、議長会で陳情されたと思うんですが、その後県からの対応はどのような対応だったのかというのを、ちょっとお伺いしたいんですが。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 町民生活課長。県の対応といたしましては、県内市町村での発生状況の調査がございました。また、その後、県のホームページ、また文書等によりまして発生に関する注意喚起が行われております。

また、児湯農林振興局及び県自然環境課職員による発生地の現地の調査が行われております。ヤスデの発生状況や駆除対策について、今後情報の共有をなお一層図っていくということで協議を行ったところです。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。おかげで大分もう前に進んだ話だと今お伺いして、本当にありがとうございます。

そして、③の今後の町としてのヤンバルトサカヤスデの蔓延防止対策について、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 町民生活課長。

○町民生活課長（山下 美穂君） 今後の取り組みといたしましては、引き続き年間を通しまして生息地域を巡回し、聞き取りを行い、その時期に対応いたしました駆除をします。

また、道路等につきましては、県道は高鍋土木事務所に要請し、町道及び町有地は担当課と連携しながら環境整備や駆除を引き続き進めてまいります。

地域住民の方々につきましては、駆除剤共同購入事業を有効的に御利用いただき、今後も継続して関係各機関、地域住民の皆様と連携して駆除活動を行ってまいりたいと考えているところです。

以上です。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 実際、駆除剤9年前からずっと駆除をしておりまして、少なくなつたからといってまた住民がまかなくなつたとか、そういったいろんな多種多様の面が多く私も把握していますので、町、県、そして住民とともになつて少しでもこういった不快害虫が少なくなると思っております。

それで、最後に町長にちょっとお伺いいたします。ヤンバルトサカヤスデも過去から換算すると数年となり、住民の悲痛な声もなかなかおさまらないのが現状です。ヤンバルトサカヤスデがこれから先も発生地域を拡大し、いろんな場所で人間に対して不快な思いをさせるのであれば、何らかの手を打たなければならないのが現状です。

年々駆除剤の自己負担額もふえ、1件当たり換算すると年間で3,333円が支出されています。家庭においても、負担額が日増しにふえているのが現状です。

もちろん、町のほうも半額補助していただいているので、総額が約1軒当たりの補助金を合わせると、6,667円の出費となります。しかしながら、ことしの10月、11月、ヤスデの移動時期と重なり、気候の温暖化のせいでしょうか、1軒当たり1年間に配給される薬剤8袋分が足らず、自分で、市販されている薬剤を購入される家庭が多く見受けられました。

また、この現状をどうにかしてくれという声も多く寄せられています。こういった現状を鑑みて、町長はどのように思われ、今後どのような対策がとられるのか、お伺いしたいと思います。

○議長（青木 善明） 町長。

○町長（黒木 敏之君） 町長。ヤンバルトサカヤスデにつきましては、住民の方々や関係機関と協力しながら、駆除及び蔓延防止対策に取り組んでいかなければならないと考えております。

また、駆除剤の共同購入事業におきましても、実績や現状に応じた取り組みができるよう、検討してまいりたいと考えております。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。ありがとうございます。これからもまだまだふえ続けていくだろうと思っておりますので、どうぞ町長一緒になつて駆除のほうよろしくお願ひいたします。

それで、一つの案なんです、田んぼなどで稲作被害を起こす南米原産のジャンボタニシの研究を、佐世保高専の方が研究し、しっかり退治ができたという報道がなされました。それで、ヤンバルトサカヤスデも何らかの研究をすれば、撃退できるのではないかと思います。宮崎県にはすぐれた研究機関や大学がたくさんあるので、そういった研究所を活用し、一刻も早く住民へよい知らせを届けてやりたいということを切実に思っております。

そういうことで、できたらそういった関係機関にも町長から一言言っただけだと助かるんですが、よろしくお願ひいたします。

では、次の質問に移ります。

先ほど言われた町長の人口減少対策に取り組むのが、町長のお考えをお聞かせいただき、

先を見据えて持続可能な地域にしていくための土台づくりをしていくことだと思います。

これからは人口減少への対応を最重要の課題として位置づけ、今後移住・定住の促進や若者の県内定着、合計特殊出生率の向上、交流人口、関係人口の拡大に向けた施策を展開し、人口減少下にあっても地域の活力が維持されるよう取り組んでほしいと思うし、県との連絡も十分に図りながら一体となり、人口減少対策に取り組んでもらえたらと思っております。

次に、県の6月補正予算において、人口減少が著しい町においては、移住支援金の対象を1次産業まで拡大するとともに、農林水産業への就業に対する支援策を行うと聞いています。また、基幹産業とする本県においては、農業の持続的な発展を支える農業従事者の確保が重要である。

このため、新たな人材を呼び込むため、県においては首都圏での独自の就農相談会や、派遣方式で数カ月就農体験ができるお試し就農、さらに1年かけて実践的な知識と技術を習得する宮崎農業実践塾などにより、U・I・Jターン者が安心して就農できる環境づくりに取り組んでいる。

あわせて、各種国庫補助を使い、農協が施設をつくってそれを貸し出すアパート牛舎やアパートの園芸施設等も導入して、新規就農者を支援して本県農業の将来を担う多様な人材を呼び込めるよう、しっかり取り組むと言っておられるが、高鍋町は今後どのような考え、あるいは取り組みで進むのか、②の人口減少対策として農業が人を呼び込むような対策が必要と考えるが、町の取り組みについて伺いたいします。

○議長（青木 善明） 農業政策課長。

○農業政策課長（横山 英二君） 農業政策課長。御質問がありました農業を通じた人口減少対策についてですけれども、町のほうでは平成28年度から国の新規就農支援事業の対象とならない、親元に就農する後継者に対しまして、町単独で支援を行っております、この事業も人口減少対策の一つになるというふうを考えているところでございます。

なお、先ほど議員が申されました県の補正予算のほうで、この事業に対する補助事業が県のほうで新たに創設されております。

それと、また県などが主催しております就農相談会にも積極的に参加をしております、直近で申し上げますと、11月に開催されました宮崎就農応援相談会のほうに参加をいたしまして、本町へ就農を希望される6名の方の相談を受けたところでございます。

このような活動を通じまして、本町農業の魅力をアピールし、多くの方を受け入れることができれば、これも人口減少対策につながるものと考えているところでございます。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。それでは、後藤正弘は、まちづくりの根幹は第1次産業とと思っているので、この第1次産業をもっともっと、もっと盛り上げるため、宮崎県食料品製造出荷全国31位、それを日本全国1位に上げる手助けを、この高鍋町から発信することにより、所得を引き上げることができ、第1次産業を強くし、農業の活力が生まれ、農

業人口減少対策に少しでも寄与できると思います。

これからは若者U・I・Jターン者が安心して就農できる、先ほども言いましたように、環境づくりが最も重要な課題だと思います。これから先、日米貿易協定、来年1月発効が決まり、県内の畜産関係者からは発効後は米肉国産牛肉や乳製品の関税が環太平洋連携協定TPP水準まで下がり、農家は厳しい国際競争にさらされることから、息の長い支援を求める意見が農家から上げられて、現在おります。

一過性の対策で終わらすことなくこれから農家の経営基盤を強化し、中小規模を含め多様な経営体が安心できる施策を、当局と議員で考えてまいりましょう。

次に、町の少子化の進行が急激に進んでいます。宮崎出生率ランキングを見ると、全国平均1.49、宮崎平均1.77で比較してみると、1位は串間市の1.96、2位は美郷町の1.91、3位はえびの市1.90で、14位は川南町の1.78、15位は新富町の1.76、16位は西米良村の1.75、17位は西諸県郡1.74、18位は都農町の1.71、20位はやっと高鍋町は1.70で、児湯郡でも下のほうです。

このことにより、③、人口減少対策として子どもを産み育てやすい環境づくりが重要と考えるが、町の取り組みについてお伺いいたします。

○議長（青木 善明） 福祉課長。

○福祉課長（中里 祐二君） 福祉課長。人口減少対策としての子育て支援についてでございますが、ほかの市町村も実施している同様の事業を除きまして、特徴的な子育て支援事業で2点について申し上げたいと思います。

1つ目ですけれども、平成29年10月から実施をしております中学生までの子ども医療費の無償化でございます。県内ではほかに6団体で同様の自己負担の無償化がされているところなんですけれども、保護者の方からも大変好評をいただいているところでございます。

そして、平成29年4月から設置をしております子ども家庭支援センターみらいでございます。18歳未満の子どものいる家庭を対象としまして、さまざまな相談に応じて関係機関との連携、支援を行っております。

この子ども家庭支援センターは、県内では高鍋町のみが設置をしておりましたが、現在では都城市、串間市でも取り組みが始まっております。今後も子育て支援事業の充実強化に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。子ども支援みらいというのが、高鍋町発信により2市に広まったということは、大変いいことだと思います。

そして、私もちょっと近隣の町村を調べたんですが、子どものために実際支援制度のある近隣の町について、少し内容を紹介いたします。

近隣の町では、出産祝金で第2子出産祝金10万円、第3子以降、出産祝金20万円支援されております。

次に、就学祝金で第2子以降出産祝金10万円支援、保育料軽減で町内在住の保育料の軽減措置で、3歳未満上限3万円、3歳以上上限2万3,000円、在園児は第2子は半額、第3子以降は無料となっております。

保育料に関して言えば、国が3歳から5歳までは無料化をうたっておりますが、この近隣の町は、町と一体となって若い世代が将来設計ができるよう、対策を講じていると思いますが、高鍋町はこのような施策に対してどう思われるか、お伺いいたします。

○議長（青木 善明） 福祉課長。

○福祉課長（中里 祐二君） 福祉課長。只今議員から御紹介いただいた近隣の町、恐らく木城町さんのことだと思われませんが、大変少子化対策として有効な施策であるというふうに思います。

今後高鍋町の子育て支援を推進していくに当たりまして、参考とさせていただきたいと思っております。

○議長（青木 善明） 6番、後藤正弘議員。

○6番（後藤 正弘君） 6番。本当に子どもがいないと、もうやっぱり近隣住民、うち辺中尾というところなんです、大分少子化が進んでいまして、やっぱり活気が出ないというところがありますので、やっぱりそれぞれみんな地区いろいろ考え、みんな親が考えながら、高齢化もふえています、子どもに一番はお金をかけてもらおうと、一番いいかなという、これからの施策はそういうことかなと思いましたので、今回このような一般質問をしたわけですが、それでは、第1次産業、農業に関しては今回の一般質問においては、私も含め4名の議員が今回質問されました。

よき補助対策を万全にしてもらうことと同時に、人口減少対策にも使える補助をもう少し考えてほしいと真剣に思いました。

また、これから先人口減少が進むと、地域の消費力が低下する、特に現役世代の減少ともなると生産力が大きく低下することから、町から活力が失われ、大きく損なわれると思います。この流れを緩和させ、歯どめをするためには、若い人が県外へ出て行くこの現象をとめることが大切です。

そして、若い人が県内で結婚し、出産し、子育てのできる環境が大変重要だと思っております。

具体的には、若い方はもちろんですが、仕事も求める人たちが就労できる職場の確保、あるいは文化や教育の整備が大変必要であり、重要であり、何よりも子どもは地域の宝であるという考えのもと、地域みんなで子どもを育てるといった、両面にわたった環境の整備が大変重要だと思っております。

来年は、世界が注目するオリンピックが開催されます。日本の運気は上昇みで、高鍋町長におかれましても、上昇みだと思われるので、ぜひともこのヤンバルトサカヤステ問題と人口減少問題、一緒に考えてこれから進んでまいりましょう。

よろしくお願い申し上げます、私の一般質問とさせていただきます。

○議長（青木 善明） これで、後藤正弘議員の一般質問を終わります。
これをもって、一般質問の全てを終わります。

○議長（青木 善明） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。
本日はこれで散会いたします。

午後 1 時32分散会
